

# 設 立 趣 旨 書

## 1 趣 旨

近年、屋久島は田舎暮らしを希望する人々の注目を集めている。地元からは、地域の発展を担う人材の定住が期待されている。団塊世代の大量定年が始まった今、地域活性化のため移住者を誘致する動きが各地方で増えてきたこともあり、屋久島においても、地元自治体や地域住民及び地元企業・団体等と、屋久島への移住を希望する人々及び既に移住した人々が連携し、島全体として移住・定住を支援する活動が必要とされ始めている。

本法人は、屋久島への定住や短期滞在等を希望する人々への移住支援事業と、移住者と地域住民が調和する交流事業を行い、社会貢献事業の育成及び環境負荷の少ない田舎生活を通じて、地域経済の発展と世界自然遺産屋久島の環境保全が両立する社会の実現を図ることによって社会全体の利益の増進に寄与することを目的としている。そのため、多くの市民が営利を目的とせず自発的に参加できる特定非営利活動法人の形態を選びたいと考えた。特定非営利活動を通じた地域社会との円滑な協働により、前記目的を達したい。

屋久島は、1993年ユネスコの世界自然遺産に登録され、観光客数の増加による環境破壊が危惧されるようになってきた。今後、日常生活の場から、地球環境保持及び自然との共生社会の実現を具体的に発信していきたい。地域住民と移住者及び都市住民の健全で楽しい交流活動を通じて、持続可能な「共生の島」屋久島の発展を目指したい。

## 2 申請に至るまでの経過

- (1) 平成18年8月、屋久島への移住・定住支援活動の必要性から、屋久町及び東京在住の有志をもって特定非営利活動法人設立の検討を始め、ホームページ「緑の風・屋久島移住支援コミュニティ」を開設する。
- (2) 平成18年10月、屋久町において屋久島移住支援NPOを考える懇談会を開く。
- (3) 平成19年3月10日「緑の風（屋久島移住支援NPO設立準備会）」を発足させる。
- (4) 平成19年5月10日平成19年度「かごしま・暮らし」を進める活動支援事業に応募申請する。
- (5) 平成19年5月11日、屋久町において特定非営利活動法人屋久島移住ネットワーク・緑の風の発起人会を開く。
- (6) 平成19年6月26日特定非営利活動法人屋久島移住ネットワーク・緑の風設立総会を開催し、法人設立認証申請に至る。

平成19年6月26日

特定非営利活動法人屋久島移住ネットワーク・緑の風

設立代表者 住所 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間1110番地  
氏名 富永 英男 印